

農業委員会だより No.40

平成 25 年度における各種基準についてお知らせします

●春の農作業標準賃金

下記標準賃金表を参考に、ほ場の条件によって双方の協議で決定してください。

作業名	標準賃金	備考
一般農作業	7,000円	1日の日当、8時間労働、賄なし
機械田植	7,000円	10a当り（スマ植は依頼者がする）
荒起	6,000円	10a
荒がき	6,000円	10a
代かき	7,000円	10a

●農地を取得する場合に必要な下限面積

（農地法第3条第2項第5号に規定する別段面積）

農地を取得しようとする場合、取得しようとする人は一定の農地を所有する必要があります。取得しようとする農地が存在する地区によって、下限面積が下記のとおり定められています。

区 域		農地を権利取得する場合の農地 または採草放牧地の下限面積
日 野 町	小原、別所、榎市、本郷、津地、 野田、舟場、安原、下黒坂、久住、 中菅、下菅、小河内、上菅および福長	50a
	下榎、貝原、三谷、高尾、金持 板井原、濁谷、門谷、秋縄および三土	40a
	根雨および黒坂	30a

●農地の賃貸借における賃借料の水準

平成 24 年度中に賃貸借した農地の賃借料は下記のとおりです。

田（水稻）の部

締結（公告）された 地域名	平均額 （円）	最高額 （円）	最低額 （円）	総件数	うち無償 件数
根雨地区	7,200	9,500	3,500	27	7
日野地区	6,100	10,000	2,000	49	17
黒坂地区	6,600	10,000	4,000	26	15
（参考）日野町平均	6,600			102	39

（100 円未満四捨五入）

※物納の場合は、玄米 30kg あたり 6,500 円で換算しています。

新年度スタート!

…今年度もよろしく申し上げます…

《職員紹介》

◇下榎隣保館長・集会所長 後藤一則

◇下榎隣保館指導員 中原千鶴

◇ 同 西村さつみ

◇下榎隣保館生活指導員 西村千秋

今年度、新体制で町人権センター、下榎隣保館、下榎集会所の活動を進めていきます。地域住民の皆さんが、気軽に集え、気軽に相談できる居場所づくりを心がけて一年頑張ります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

隣保館活動を紹介します

★相談事業

生活相談、職業相談、人権相談、高齢者問題など、生活のうえでの困りごと、心配事などの相談事業を行っています。

各専門機関と連絡を取り合い問題解決に取り組みます。相談の内容は堅く守られますので安心してご相談ください。

【担当】生活相談員 西村千秋

★憩の家事業

「ぽかぽか教室」や「よってみよい家」など高齢者の集いの場をつくります。

毎月、セラバンド体操などの簡単なスポーツをしたり、出前公民館の映画会開催、そしてどなたでも気軽におしゃべりをしたりと憩の家を開放します。

★学習講座

毎月定例で次の講座を開催しています。

【生け花】草月流

講師：生田清子さん（黒坂）

日時：毎月第3土曜日 午後1時30分から

会場：下榎集会所

【セラバンド体操】

講師：高橋伸也さん（野田）

日時：毎月第2水曜日 午前10時から

会場：老人憩の家

このほか、陶芸教室、クレイフラワー教室、料理教室など開催予定です。詳しくは隣保館だより、または町の防災無線で随時お知らせします。ふるってご参加ください。

なお、参加希望など詳しいことは下榎集会所までご連絡ください。



セラバンド体操



クレイフラワー教室

★貸館事業

下榎隣保館、集会所、老人憩の家の各施設を利用できます。(利用料:1時間100円~150円)

5月の行事予定

◆セラバンド体操

日時：5月8日（水）10：00～11：30

講師：高橋伸也さん 場所：老人憩の家

◆生け花

日時：5月18日（土）13：30～

講師：生田清子さん（草月流） 場所：下榎集会所

※当日、材料費（花代）が必要です。

《研修会参加報告》

県隣協女性部会西部地区研修会に参加して

3月5日、伯耆町文化センターで開かれた研修会に参加しました。

まず、岸本手話サークルの米原勝雄さんが「手話を覚えよう！」と題し、講演と手話講習を受けました。米原さんは「聴覚障がい者は見えない障がいとも言われ、声をかけても知らない振りをされたら勘違いされるなど、見た目では分からないため、鳥取県では障がい者への理解を啓発する『あいサポート運動』が進められている」と話されました。

また手話講習では、基礎のあいさつや数字の出し方、あいさつおなどの文字、名前などの講習を受け、最後は「花は咲く」という歌を手話で歌いました。手話は短時間では覚えられず、地方によって表現方法も違うようです。機会を作り、あいさつなど基本的な手話はマスターしたいと思いました。

研修会では西部総合事務所栄養士の山本久美さんの指導で「高齢者の献立作り（調理実習）」も行われ、濃い味を控え、塩分カットを工夫することや高齢者が脱水症状になりやすいため、水分を意識して摂るよう心がけることが話されました。